

食品安全委員会におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

食品安全委員会においては、リスクコミュニケーションの推進を図るため、関係行政機関とも連携しつつ、以下の取組を進めているところである。

1 審議の透明性確保と情報の提供

食品安全委員会は、原則公開とし、食品健康影響評価の結果や議事録等の審議状況について、ホームページを活用して情報を提供。

2 食品健康影響評価に関する一般からの意見・情報の募集等

食品健康影響評価に関して、広く国民一般からの意見・情報の募集等を実施。

- 10月 6日 遺伝子組換え食品等の安全性評価基準の策定についての意見・情報の募集
- 10月 9日 アルカリ処理をした液状の肉骨粉等を肥料として利用することについての意見・情報の募集
- 10月24日 遺伝子組換え食品等の安全性評価基準の策定について意見を聴く会の開催
- 11月20日 ノバルロンに係る食品健康影響評価に関する審議結果についての意見・情報の募集

3 意見交換会・懇談会の開催

消費者、食品関連事業者等の関係者との間で意見交換会・懇談会を開催し、情報や意見の交換を実施。

(1) 消費者団体、食品関連事業者、地方公共団体等と委員との意見交換

- 8月 1日 消費者団体との懇談
- 6日 消費生活アドバイザーとの懇談
- 7日 食品産業関係者との懇談
- 28日 水産加工事業関係者との懇談
- 29日 国民生活センター・消費生活センターとの懇談
- 9月 3日 消費者団体との懇談
- 25日 食品添加物事業関係者との懇談
- 10月 2日 農薬事業関係者との懇談
- 16日 東京都との懇談

23日 特定保健用食品事業者との懇談

11月20日 日本栄養士会との懇談

(2) 食の安全に関する意見交換会の開催（関係省と連携して実施）

（食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省主催：委員又は食品安全委員会事務局も参加）

7月 4日	食の安全に係る改正法の施行に向けて	（東京）
10日	食の安全に係る改正法の施行に向けて	（神戸）
9月10日	食品に関するリスクコミュニケーション【残留農薬】	（東京）
26日	食の安全に関する意見交換会	（金沢）
30日	食品に関するリスクコミュニケーション【残留農薬】	（東京）
10月 7日	食の安全・安心セミナー	（熊本）
10月28日	リスク分析手法の要素としてのリスクコミュニケーションの領域 ～米国における実践例と我が国における可能性～	（東京）
10月31日	食の安全に関する意見交換会	（札幌）
<u>11月 5日</u>	<u>とうかい食の安全・安心フォーラム</u>	（名古屋）
<u>11月10日</u>	<u>食品に関するリスクコミュニケーション【抗菌性物質】</u>	（東京）
<u>11月11日</u>	<u>長寿県沖縄における食品の安全性に関する地域フォーラム</u>	（那覇）
<u>11月18日</u>	<u>食の安全に関する意見交換会</u>	（仙台）
<u>11月26日</u>	<u>食品に関するリスクコミュニケーション【表示】</u>	（東京）
<u>11月28日</u>	<u>食のリスクコミュニケーション意見交換会</u>	（大阪）

(3) 地域における食の安全に関する意見交換会等への委員の参加

9月17日	食の安全・安心を考えるフォーラム	（山梨）
<u>10月22日</u>	<u>食の安全と安心をめざして（日本学会議）</u>	（東京）
<u>10月29日</u>	<u>第1回食を考える国民フォーラム（食を考える国民会議）</u>	（東京）
<u>11月17日</u>	<u>全国消費者大会</u>	（東京）
<u>11月25日</u>	<u>食の安全と健康初対面</u>	（神戸）

4 「食の安全ダイヤル」の設置

幅広く消費者等から食品の安全性に関する情報提供、問合せ、意見等を頂くとともに、知識・理解を深めていただくため、8月1日に「食の安全ダイヤル」を設置（11月末日までの問合せ件数：148件（累計））。

5 「食品安全モニター」を通じた意見等の把握

9月初めに、食品安全モニター470名を依頼し、食品の安全性に関する

る意識調査（アンケート調査）を実施。また、随時、食品安全行政に関する意見等の報告を受けているところ（10月分：65件）。

さらに、リスク管理機関が講じた施策等について、食品安全モニターとの間で地域の実情を踏まえた情報や意見の交換を行うため、今年度中に全国6カ所程度で「食品安全モニター会議」を開催する予定。